

# 第5回一関市社会福祉大会



## 第5回一関市社会福祉大会

健康で生きがいを持ち、安心して日常生活を営むことができる福祉社会の構築を目指し、7月28日大東町大東コミュニティーセンター（室蓬ホール）を会場に市民約420人が参加し開催されました。私たちは、福祉受け手であると同時に福祉の担い手であることを確認し、基本理念である「支えあい 幸せ感じる 地域の暮らし」の実現のため、一層の努力を誓いました。

ふれあいネットワーク

いちのせき

# 社協

第16号

# だより

[2010年10月15日発行]

## 大会宣言

日常生活を営むうえで、不可欠な分野である経済、雇用、医療、福祉等の環境は、大変厳しい状況にあります。

そこからの脱却の見通しも立たない閉塞の時代の只中であって、人口は減少し続け高齢者人口は増加し、高齢化率も上昇の一途を辿っています。

一方、経済のグローバル化、都市化の進展は地域コミュニティーを崩壊させる方向で作用しており、高齢化の進行と相俟って、新たなコミュニティー形成のための仕組みづくりが求められてきております。

社会福祉協議会は、「支えあい 幸せ感じる 地域の暮らし」を基本理念に、地域福祉活動を展開しております。

住み慣れたまちで、健康で生きがいをもち、安心して暮らすことができる地域社会の実現は、私たちの願いです。

地域で暮らす一人ひとりが、地域社会のためにできることを、率先して実践していくこと即ち、地域の福祉力を高めていくことが、今日ほど強く求められている時代はありません。

私たちは、福祉の受け手であると同時に福祉の担い手であることを確認し、次の事項を重点に、福祉のまちづくりに邁進してまいります。

- 一、住民による福祉活動の推進と地域ネットワークの確立に努めます。
- 一、介護保険事業等のサービス提供の充実と運営強化に努めます。
- 一、ボランティア意識の高揚と継続的参加活動の推進に努めます。

以上、本大会において宣言します。





平成22年度

# 敬老会

健康と長寿を

お祝いして

多年にわたり、社会に貢献されてきた高齢者の方々（対象者八十歳以上）を敬愛し、健康と長寿を祝う敬老会は、「敬老の日」の前後から十一月にかけて、各地区で開催されています。

今年の招待者数は九月一日現在一三、一九九人で、八十八歳の米寿は、六六九人で、米寿を迎えた人は昨年より三十五人増えています。

各地区とも、式場や公民館等で開催されており、福祉活動推進協議会や自治会など住民のみなさんの企画により運営されています。

## 各地域の開催日

- 一関地域 12日から21日
- 花泉地域 19日
- 大東地域 7日から30日
- 千厩地域 7日から10日
- 東山地域 12日
- 室根地域 6月から11月
- 川崎地域 25日



室根地域第12区



東山地域



平成21年度 花泉会場風景

## 社協ふくし祭 『ゆいっさ広場』 in 千厩

～人と心を地域で支えるまちづくり～

期日：平成22年10月17日(日)

午前10時開会

会場：千厩農村勤労福祉センター

### 【内容】

- 開会アトラクション・愛宕花相撲（子供を生み育てた女性たちの伝統芸能集団）
- ふれあいサロン活動ステージ発表
- ふれあいサロン作品展
- 癒しの動物ふれあいサロン
- 障がい者・高齢者ふれあい作品展
- シルバー人材センター会員作品展
- 大きなかみしばいと絵本・おはなしばちばち
- 一関歯科医師会によるむし歯相談
- 炊出し訓練（非常食と豚汁の試食）
- 乳製品試食・販売
- かあちゃんアイス販売
- 農産物販売
- ハートフルショップ軽食販売（たこやき、わたあめ、ポップコーン、コーヒーなど）
- キラりん一座上演会

社協では、毎年、市民の皆さんと福祉関係者等とのふれあいの場としてふくし祭りを開催しております。本年度は千厩会場で開催します。千厩地域のふれあいサロンの活動展や、心の病いと共に生きる仲間達によるキラりん一座上演会、市内福祉施設の出店等、地域の様々な福祉活動がもつと身近に感じていただけるように願っています。見て・聞いて・触れあつて！多くの皆様のご来場をお待ちしています。

# 支部通信

## 一関支部

### 水難物故者・一般物故者を追悼

昭和二十二年九月十五日のカスリン台風、昭和二十三年九月十六日のアイオン台風と二年続けての台風襲来で一関地域は磐井川の堤防決壊などで市街地は濁流と化し、瞬時のうちに、死者、行方不明五七三人、二七五〇戸の家屋の被害、五〇〇ヘクタールの田畑の流出など未曾有の被害を蒙りました。

今日まで、被災者の救護はもとより、磐井川堤防の建設、治水事業の促進など行政と住民は一丸となつて災害復旧に努めてきました。

しかし、水魔に襲われた犠牲者の遺族には悲痛の日々であり、一関地域の住民にとつては永遠に忘れることのできない心の痛みとして記憶されています。



一関支部では、毎年八月二十日の盂蘭盆会に併せて、尊い生命を奪われた水害の犠牲者を偲び、追悼の言葉を捧げ、水害を知らない世代に災害の教訓を伝えていくという事で追悼法要及び流燈会を一関教会の協力のもと、開催しています。

六十三回目にあたる当日は約四〇〇名の方々が、追悼法要と燈籠流しに磐井川河川敷に集まり、家族等参列者が揃つて燈籠を流しました。

三世代の家族で揃つて参列し、「おじいちゃん来年も来るからね」と言つて燈籠を流す子どもの姿もあり、川面に映る燈籠を灯りに静かに手を合わせ、故人を偲ぶとともに、水害のない一関を祈つていました。

## 花泉支部

### さわやか大学で楽しく介護予防

さわやか大学では市内に居住する概ね六十五歳以上の方を対象に、高齢者が介護状態になることを予防するための活動を行っています。

年をとつてもいつまでも元気で、充実した日々を送りたい。そうした願いにお手伝いできればと、老松、高倉介護予防センター等を会場に、健康維持や認知症予防に役立つ講座、ゲームや歌、創作活動を行っています。

写真は、花泉地区の老人クラブの方々が、おそろいの衣装を自作し、満州娘を踊っているところです。リズム体操の一つとして、楽しく踊る中で転倒予防のバランス感覚を養います。昔の歌を思い出し認知症予防、足並みを揃えて踊るチー

ムワークで協調性も高まります。

「何よりも体を動かして楽しかった。」と笑顔で取り組んでいました。この日は他にも、講話、算数ゲーム、活脳ウォーキングと、様々な介護予防に取り組みました。また、老松介護予防センター内にある入浴施設「準天然温泉なごみの湯」は利用者からも好評です。

「来てよかった。」と言われることが職員の間にもつながつており、引きこもりをなくすためにも、皆で参加してほしいと語っています。

（お問合せ 電話 八二一五五五九 老松介護予防センター 菅原）



## 大東支部

### 書き損じはがきで見守り活動

大東支部では在宅高齢者等の見守り事業として「ひまわりサービス」を展開し

ています。ボランティアが作成した「ふれあい・はがき」を郵便局外務員が声かけしながら直接手渡し、安否確認をしています。不在の場合は再訪問して安否確認していただいております。

今回は、ボランティア協校指定を受けている大原中学校、興田小学校、渋民小学校の生徒に八月の暑中見舞いを書いてもらいました。はがきを書いた生徒には、利用者から感謝の手紙が届いております。

このはがきは年賀状や暑中見舞い等で書き損じたはがきを活用しています。書き損じはがきを活用したボランティア活動に、皆さんも参加してみませんか。

（詳しくは一関市社協大東支部 電話 七一一一七七 担当 小崎）

## 千厩支部

### 就労継続支援事業所・千厩ワークプラザの研修

去る九月二日、千厩ワークプラザでは利用者を対象とした研修を実施しました。

今回の研修は、招待をいただいた「キグレンEWサーカス」公演に併せたもので、千厩ワークプラザ利用者や職員、ボランティアの皆さん、そして手をつなぐ会からも普段外出の少ない在宅の知的障がい者数名が参加しました。

参加者の多くが、「サーカスを見るのは初めて」。または「何十年ぶり」という方もいました。会場となっている矢巾町流通センター地区は、この日も猛暑日であり、冷房が効いているとはいえないテントの中は暑く、それでも公演がはじまる

とその暑さなど感じないほどサーカスの一芸一芸から目をはなせませんでした。アクロバットには目を輝かせながら両手をふって声援する女性も。又、こっけいなピエロに大笑いしたりと「熱くなった」九十分のサーカス公演でした。

サーカス終了後は、近くの温泉で休憩。皆で仕事の事等話し合いながら和やかに会食懇談し、仲間の絆が一段と深まった一日でした。

この研修を通じ、参加者の皆が「仲間を思いやる心」、「支援者の確かな存在」を感じたはず。そしてこの経験が、また明日からの活動のエネルギーとなる事でしょう！

## 東山支部

### 温泉でリフレッシュ！

七月二十二日（木）胆沢川温泉「さくら湯」（奥州市水沢区）を会場に平成二十二年第一回ひとり暮らし高齢者のつどいを開催しました。

会場に到着すると、温泉で汗を流し、落ち着いたところで最高齢の方の乾杯で昼食の弁当を食べました。

このつどいで友達になった人と「久しぶりだね。」「今回も参加できたよ。」等と再会を喜び談笑したりして、時を過ぎました。

帰りの時間が近づくと、「今度は秋だね！」「次のつどいでまた会おうね」等

と今回の参加の約束し帰途につきましました。

このつどいは、六十五歳以上のひとり暮らし高齢者の方を対象に、民生委員の協力をいただきながら行っています。



## 室根支部

### ひとり暮らしの集い

「ひとり暮らしの集い」が七月九日、厳美のいづくし園で開催されました。

この事業は、ひとり暮らしの方々の親睦交流を目的としています。

今年は、大地震から復興した被災地を励まし交流しようとして開催になりました。会場の温かいもてなしと温泉でお互いに「思いやり」の心の大切さを再認識することが出来ました。

また交流会では、室根町内イベントの中から「森は海の恋人植樹祭」が上映さ

れ、『盛大な催しを初めて知った』など驚きの声もありました。

続けて上映された湯田町のふれあいサロンのビデオでは、「私も参加してみようか」などと、社会参加への興味を持っていた方が多いです。



## 川崎支部

### 市長と歩いた！砂鉄川

### 堤防ウォーキング交流会

七月十六日午前十時より、川崎公民館を発着点に「市長と歩こう！砂鉄川堤防ウォーキング交流会」が開催されました。明るく元気な地域づくりをお手伝いする「かわさき健康塾」と一関市の主催による行事で、移動市長室で川崎支所にお

いて執務していた勝部市長も参加。総勢五十名ほどが新たに設定された砂鉄川堤防ウォーキングマップの2kmと5kmコースを、川風に吹かれながら楽しみました。ウォーキングの前後には運動指導士が考案したストレッチ「砂鉄川堤防体操」十三ポーズで体をほぐしました。市長は2kmコースの人々とスタートされ、2kmの折り返し点で折り返さず、1km以上先を行く5kmコースに追いつき追い越して歩かれました。ペースメーカーの運動指導士より早いペースでゴールされ参加者の賞賛を浴びていました。思い思いのカラフルな運動服や帽子、スタッフのピンクのTシャツの中で、市長の黄色いポロシャツ（一関保健センターのメタボPRユニフォーム）は大層鮮やかでした。

ウォーキングの後には、障がい者ટેיקアウト虫教室で用意していただいたトマトカレーライスで昼食となりました。



# 子育て研修会を開催

去る九月七日、市総合福祉センターにおいて、ファミリーサポートセンター子育て研修会を開催しました。テーマは「こころと身体をほぐくむベビーマッサージ」で、講師は鍼灸師、リンパドレナージセラピストの菅原園子さん。二人の子どもの母親であり、仕事と子育てに奮闘する講師に、参加者は思いを分かち合いながらベビーマッサージの効用と実技を学びました。

マッサージの効用は赤ちゃんは無論ですが、母親にとっても、肌に触れることで安心感や信頼感が芽生え、体内ホルモンの分泌で産後の回復や精神的充足感が得られるということでした。

## 笑顔で広がるふれあい体験

### ～夏体験ボランティアスクールを開催～

一関市社会福祉協議会は、ボランティアに対する関心を高めるため、毎年中学生および高校生を対象に『夏体験・ボランティアスクール』を開催しています。

二十年度から七支部全てにボランティア体験受入先を確保し、それぞれの支部における八箇所の体験メニューから、参加者が選択する形で開催しています。今年は八月一日(日)から八月六日(金)の延べ六日間の日程で開催しました。

一関市内に在学する中高生十三人が、NPO法人や社会福祉法人が運営している施設で、乳幼児や障がい児・者とのふれあいを体験しました。参加した生徒の一人は、「他校の生徒

マッサージが始まると大人も子どもも穏やかな表情になり、乳幼児の歓声のあがる会場は、笑顔のあふれる時間となりました。



その後の茶話会では、顔を合わせる機会の少ない会員同士の交流を行いました。これからも会員に役立つ研修や交流の機会を作って、この地域にたくさんの方の支援の輪を広げていきたいと思えます。

と交流ができて、ボランティア活動への取り組み姿勢が変わりました。やりがいがあるボランティア活動をもっと続けたい。」と話していました。

また、「この体験を通じ、乳幼児と楽しく遊んだり、お母さんの話しを聞くことで、子育てについて考える機会になりました。保育士や幼稚園教諭になりた」と、今回の参加が、自分の将来目標を確認する場にもなった人もいたようです。



# 地域活動団体紹介

## 世代にかけるボランティアたちの願い

世代を超えて子どもや障がいのある人たちなどの交流支援を行う「一関世代にかける橋」は、昭和四十一年に設立されました。現在は高校生から四十歳代の社会人まで約二十五人の会員が、毎週一回火曜日午後六時から山目公民館で例会を行い、そこで「子どもの森」や「ハロウィンパーティー」などのイベントの企画や乗馬を通じ交流を行うなど幅広い活動を行っています。

世代にかける橋では、社会人が若い学生世代と共に活動し、次の世代へボランティア活動が引き継がれていくことをめざしています。永年の活動が認められて、平成十四年にはボランティア功労厚生労働大臣賞を受賞しました。

現在、会の代表を務めている橋本真由美さんも、学生時代から世代にかける橋のボランティア活動にかかわってきた一人。



「ボランティア活動は特別なことではありません。会員も皆、学業や仕事と両立させながらやっています。何よりも仲間が増えることが楽しいですね。」と語る橋本さん。

磐井川河川敷で行われる恒例の「子どもの森」では学生が実行委員長となり、「小さな子どもにどうしたら安全に楽しんでもらえるか」、また「子どもの森を楽しんだ子ども達も大きくなって運営側になつてくれれば…」という期待も込め、企画実施しています。

「子どもの森」で楽しく遊んでいる小学生、子どもたちの喜んでくれている姿を見ているととてもうれしく満足そうな学生ボランティア。「世代にかける橋」の願いは確かなものとして伝わっているようです。

## ～共同募金運動にご協力をお願いします～

### 赤い羽根共同募金

(十月二日から)

この募金は、民間の福祉施設や社会福祉協議会などの福祉団体、ボランティアグループなど様々な活動を支え、地域活動を応援するための資金として、活かされます。

目標額 一八、三五〇、〇〇〇円

### 歳末たすけあい運動募金

(十二月一日から)

新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるよう、また、豊かな地域社会を構築していくため、歳末たすけあい運動を展開いたします。

目標額 二二、八〇〇、〇〇〇円

## まごころ寄附

平成22年6月から平成22年8月までに、市民の皆様からご寄附がありました。

## 本部

大東町中川 穂玖扇流彩史会 代表 穂玖扇志誉舞様 100,000円

## 一関支部

一関市 岩手県宅地建物取引業協会一関支部  
支部長 鈴木 東様 100,000円

田村町 中村トキ子様 50,000円

一関市 どんぐりの会様 17,531円

宮前町 門澤 京子様 100,000円

一関市 第21回チャリティー踊りの会  
実施委員長 藤井 忠男様 100,000円

山目字館 山中第三回卒業生 代表 関口 国栄様 30,000円

萩荘字高梨北方 金野 清子様 100,000円  
匿名 1,000円  
匿名 車椅子1台

## 花泉支部

花泉町 花 夢 企 画 様 20,000円

花泉町 花泉ダンス同好会会長 阿部すみ子様 10,000円

永井字東狼ノ沢 石坂 令子様 100,000円

永井字待井 後藤 秀子様 50,000円

花泉町 花泉まつり実行委員会様 18,179円  
匿名 衣類16点  
匿名 下着23点

## 大東支部

中川字久保田 及川喜久恵様 50,000円

摺沢字大森 後藤 栄子様 30,000円

大原字台下 加藤 純様 30,000円

猿沢字町方 増沢タミ子様 100,000円

大原字一六 千葉 正子様 50,000円

摺沢字上堺ノ沢 菅原 忠彦様 50,000円

摺沢字流矢 那須 恭一様 30,000円  
匿名 20,000円

## 千厩支部

小梨字落合 千田たき子様 50,000円

千厩字北方 加藤真四男様 100,000円

千厩字前田 佐藤 順子様 100,000円

奥玉字弘川 千葉 純男様 100,000円

千厩字前田 高橋美智子様 50,000円

千厩字北方 北村 祐子様 100,000円

花巻市大迫町 プロレスリングアライブ様 22,086円

千厩字上木六 村上 忠吾様 50,000円  
匿名 10,000円

## 東山支部

田河津字丸木 佐藤 栄一様 100,000円

田河津字夏山 横沢 淳様 300,000円

長坂字北山谷 小玉 義光様 100,000円

田河津字夏山 佐藤 和彦様 100,000円

松川字三室平 和賀 静男様 50,000円

気仙沼市 及川 信義様 50,000円

松川字卯入道平 松岡 栄一様 50,000円

東山町 田河津婦人会 会長 小野寺克子様 50,000円

東山町 松川婦人会様 タオル140枚

東山町 丸木サロン様 雑巾28枚

東山町 田河津婦人会様 タオル100枚  
匿名 30,000円

## 室根支部

東京都あきる野市 秋元 総子様 30,000円

折壁字天神下 道目木正実様 30,000円

津谷川字大森 及川 秋夫様 30,000円

矢越字岩沢 佐藤 仁信様 30,000円

津谷川字本宿 佐藤なつ子様 60,000円

矢越字湯舟 村上 彰一様 100,000円

矢越字曲谷 菊地 三男様 50,000円

津谷川字葛ヶ沢 佐藤 達朗様 50,000円

折壁字屋中 一関市ゲートボール協会  
室根支部長 千葉 繁美様 18,000円

折壁字田茂木 熊谷 慧一様 30,000円

## 川崎支部

薄衣字石畑 菅原 守様 50,000円

薄衣字諏訪前 金野 久時様 100,000円

門崎字妻神 小野寺清喜様 100,000円

薄衣字諏訪前 畠山キミ子様 50,000円

薄衣字諏訪前 三浦 一夫様 50,000円

千葉県市川市 菅原貴美恵様 50,000円  
匿名 50,000円

## 一関市社会福祉協議会事務職員採用試験

- ◇ 受験資格——社会福祉士(登録見込含む)又は社会福祉主事(取得見込含む)で普通自動車運転免許を所持している者
- ◇ 第一次試験——**10月31日(日)**
- ◇ 受付期間——**10月1日(金)～10月22日(金)**
- ◎ 問い合わせ先——一関市社会福祉協議会総務課  
TEL 0191-23-6020  
http://www.ichinoseki-shakyo.com

## 職員募集

一関市社会福祉協議会では、介護保険事業所の職員を募集しております。募集職種など詳しいことは、下記にお問い合わせください。

## 東山支部

一関市東山町長坂字西本町 139-1  
電話：0191 (47) 3238

ホームページに関する  
お問い合わせ先

社会福祉法人 一関市社会福祉協議会ホームページ

http://www.ichinoseki-shakyo.com E-mail : info@ichinoseki-shakyo.com